

2025年10月3日 プレスリリース No. 014-25

デザイン学科・匠領域 学生作品展「おもひ、めづる展」

掛川市・松ヶ岡を愛する会との文化財建造物活用に関する共同研究の一環として開催

静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科 匠領域では、日本の伝統建築・工芸を現代に活かすデザインを探求しています。このたび、掛川市と松ヶ岡を愛する会との文化財建造物活用に関する共同研究の一環として、掛川市指定文化財松ヶ岡(旧山﨑家住宅)を会場に、学生作品展「おもひ、めづる展」を開催します。

■市指定文化財建造物を舞台にデザイナーの卵が作品展を開催

松が繁る自然豊かな屋敷地に歴史や教育の息吹が残る<u>市指定文化財「松ヶ岡」(旧山﨑家住宅)</u>。掛川藩御用達商人として名をはせた山﨑家は、掛川藩の藩校「教養館」にも携わり、明治維新後は掛川の近代化に尽力しました。旧山﨑家住宅は、明治天皇の行在所となるなど格式高く、良質な木材と建築技術を用いた江戸時代末期から近代までの文化財建造物や庭園で構成された邸宅です。

本学は掛川市と松ヶ岡を愛する会と共同で、松ヶ岡を対象にした文化財建造物における教育及び活用について、研究を進めています。本展は、デザイン学部デザイン学科匠領域で学ぶ3年生10名が、松ヶ岡での学びから新たな作品構想・制作、展示計画を行い、作品展を開催するもので、昨年度に引き続き2回目の開催となります。地域文化財を展示活用するユニークベニューの中でも、特に「場」から作品を創出し展示活用するユニークベニューとして注目されています。

「松ヶ岡」の魅力と共に、学生たちの金工、染、織、木漆芸、陶芸、伝統建築の作品をお楽しみください。



■「おもひ、めづる展」概要

日程 : 2025年10月11日(土)、12日(日)

時間 : 10:00~15:00(12日(日)13:00から公開講評会)

場所 : 掛川市指定文化財松ヶ岡(旧山﨑家住宅) 静岡県掛川市南西郷 838

入場料 : 無料

共催 : 掛川市/静岡文化芸術大学

協力 : 松ヶ岡を愛する会

■テーマ

「思ふ」一深く心に感じ、愛する、「愛づ」一心惹かれ、夢中になる 長い歳月をかけて人々に大切に手入れされてきた歴史ある松ヶ岡に心を寄せ、手 仕事への思いを重ねました。 金工・染・織・木漆芸・陶芸・伝統建築 ― 時を超え て受け継がれる技と心を作品に託しています。

<裏面もご覧ください>

<本リリースに関する問い合わせ> 静岡文化芸術大学 デザイン学部 新妻淳子研究室 Tel. 053-457-6227 / Fax. 053-457-6123 Email. j-niit@suac.ac.jp



■アクセス JR 掛川駅より徒歩 15 分 東名掛川 IC から車で 10 分

■駐車場 なし ※掛川祭開催につき近隣道路が交通規制されています。

■お問い合わせ先

・作品展に関すること おもひ、めづる展実行委員会 omoimeduru2025@gmail.com

静岡文化芸術大学 デザイン学科 新妻研究室 j-niit@suac.ac.jp

・松ヶ岡に関すること 掛川市文化・スポーツ振興課文化財係 0537-21-1158

松ヶ岡(旧山﨑家住宅)公式 WEB https://www.bt-r.jp/matsugaoka/



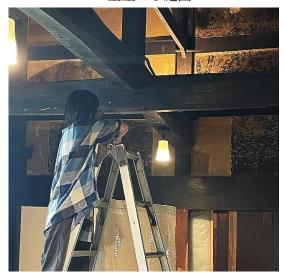
松ヶ岡(旧山﨑家住宅)主屋正面



主屋から庭園



松ヶ岡の歴史・文化と建築を学ぶ



作品展準備の様子



おもらる展

静岡文化芸術大学 デザイン学科 匠領域 3 年 学生作品展

「思ふ」-深く心に感じ、愛する っ 「愛づ」-心惹かれ、夢中になる

長い歳月をかけて人々に大切に手入れされてきた松ヶ岡 歴史あるこの地に心を寄せ 手仕事への思いを重ねました

金工・染・織・木漆芸・陶芸・伝統建築 時を超えて受け継がれる技と心を作品に託しています 静かな時が流れる松ヶ岡で是非ご高覧ください

2025. $10.11(\pm).12(\pm)$ 10:00~15:00

10/12(日)13:00より公開講評会

掛川市指定文化財

| 松ヶ岡(旧山﨑家住宅)[入場無料] | 静岡県掛川市南西郷 838





松ヶ岡 公式サイト

Instagram

※10/11,12 は掛川祭開催日のため、お車でのご来場はご遠慮いただきたく、ご理解ご協力をお願いいたします。

【共催】静岡文化芸術大学/掛川市 協力:松ヶ岡を愛する会 【お問い合わせ】おもひ、めづる展実行委員omoimeduru2025@gmail.com



^{企立大学选人} 静岡文化芸術大学